

被爆後の広島

撮影／アール・グロトフェルティ

提供／アール・グロトフェルティ、スーザン・グロトフェルティ、長谷川みどり

1945年(昭和20年)秋に軍医として呉市へ来たアール・グロトフェルティさんは、翌年2月までの滞在中、広島市内などを撮影した。



爆心地から約300m 相生橋から南東を望む



爆心地から約450m 八丁堀附近から東方を望む。
道路脇には、焼け焦げた路面電車の車両が写る



爆心地から約720m 八丁堀、福屋旧館



爆風で屋根瓦が吹き飛ばされた木造家



爆心地から約720m
福屋新館から北方面